

海外発ビジネス最前線(第1回)

ついにアプリで「葬式」を準備するサービスが登場!?

2017.03.13



IoT(モノのインターネット)、AI(人工知能)、ロボティクス技術、3Dプリンターなど、さまざまな革新的技術が全世界の人々の暮らしを劇的に変え始めています。本コラムでは、産業の大パラダイムシフトを迎えた今日において、世界中で日々生まれるニュービジネスを紹介します。

まずは、世界中に広まりつつある「シェアリングエコノミー」という経済システムの新サービスです。シェアリングエコノミーとは、不動産などの資産、モノやノウハウ、サービスといった資源を、必要とする人に必要なときに提供し、皆で活用する新たな経済のことです。代表的なものとしては、民泊、ルームシェア、タクシー配車などがあり、提供者と利用者を仲介するサービスで、マッチングビジネスの一種です。

急速な広がりを見せるシェアリングエコノミーの世界で、ロシアでは「Umer」(ウーマー)という、遺族と葬儀関連サービスをマッチングさせるビジネスが登場しつつあります。

名前や宗派を入力すると、自動で斎場や霊園をリストアップ

ロシアの人気天気情報Webサイト「ヤンデックス・フォーキャスト」のオーナーである、ドミトリー・ゲラニン氏が開発したUmerは、葬式に関するマッチングビジネスサービスです。

Umerの使い方は非常にシンプルです。利用者がUmerを起動すると、亡くなった人の情報を入力する画面が表示されます。そこに亡くなった人の名前や、亡くなった日、宗教のタイプ、住所などを入力すると、条件に合った斎場や霊園の情報が料金と共に5分以内に提示されます。このとき、オプションで火葬か土葬の選択をしたり、墓石、棺おけ、花を注文したりすることもできます。

ここで提示された条件に利用者が納得すれば双方合意となり、マッチングが成立します。マッチングが成立すると葬儀コーディネーターが実際の式をつかさどるといった流れになります。

Umerは操作が簡単で、普通の葬式の手続きよりも迅速に簡単に事が運べ、料金も明朗だとゲラニン氏は説明します。さらに亡くなった際に、必要な提出書類の代行作成もしてくれます。

「リピーターに特典はあるのか」… 続きを読む